

## 令和3年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

令和3年5月14日

上場会社名 株式会社ネクシィーズグループ 上場取引所 東  
 コード番号 4346 URL <https://www.nexyzgroup.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 近藤 太香巳  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 管理本部長 (氏名) 松井 康弘 TEL 03-5459-7444  
 四半期報告書提出予定日 令和3年5月14日 配当支払開始予定日 令和3年6月8日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無（新型コロナウイルス感染拡大の観点から開催中止。四半期決算説明の動画配信のみを予定。）

（百万円未満切捨て）

### 1. 令和3年9月期第2四半期の連結業績（令和2年10月1日～令和3年3月31日）

#### （1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
3年9月期第2四半期	8,903	12.3	△575	—	△573	—	△870	—
2年9月期第2四半期	7,928	△4.6	92	△90.6	90	△92.0	△177	—

（注）包括利益 3年9月期第2四半期 △787百万円（—%） 2年9月期第2四半期 △91百万円（—%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
3年9月期第2四半期	△67.23	—
2年9月期第2四半期	△13.75	—

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
3年9月期第2四半期	15,760	4,480	14.8	180.16
2年9月期	16,064	5,524	21.5	266.65

（参考）自己資本 3年9月期第2四半期 2,333百万円 2年9月期 3,453百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2年9月期	—	25.00	—	20.00	45.00
3年9月期	—	20.00	—	—	—
3年9月期（予想）	—	—	—	20.00	40.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 令和3年9月期の連結業績予想（令和2年10月1日～令和3年9月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,500	4.9	500	—	500	—	250	—	19.30

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	3年9月期2Q	13,413,640株	2年9月期	13,413,640株
② 期末自己株式数	3年9月期2Q	460,731株	2年9月期	463,501株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	3年9月期2Q	12,951,011株	2年9月期2Q	12,906,926株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料5ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	6
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	12
(追加情報) .....	12
(セグメント情報等) .....	13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国の経済は、長期化する新型コロナウイルス感染症の影響により、様々な業種で企業収益や雇用情勢が厳しい状況が続いておりましたが、政府や地方自治体の施策により回復の兆しが見られました。しかしながら、感染が再拡大したため令和3年1月には一部地域において再び緊急事態宣言が発出されるなど、先行き不透明な状況が続いております。GDPの伸び率は、令和2年10月～12月に2.8%増となりました。消費者物価指数(生鮮食品は除く)は、前年同月比△0.1%～△1.0%の間で推移しております。

このような状況の下、当社グループでは、「ネクシィーズ・ゼロ事業」「電力小売事業」「電子メディア事業」の3事業を展開しております。当第2四半期連結累計期間においては、「ネクシィーズ・ゼロ事業」、「電子メディア事業」における顧客からの受注が堅調に推移した一方で、「電力小売事業」において電力卸市場の電力仕入単価が急激に高騰したことにより、大幅に原価が増加いたしました。

これらの結果、売上高8,903百万円(前年同四半期比12.3%増)、営業損失575百万円(前年同四半期は営業利益92百万円)、経常損失573百万円(前年同四半期は経常利益90百万円)となり、親会社株主に帰属する四半期純損失は870百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失177百万円)となりました。

当第2四半期連結累計期間における報告セグメントの概況は次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントとして記載する事業セグメントを変更しており、比較・分析は変更後のセグメント区分に基づき記載しております。

## [ネクシィーズ・ゼロ事業]

ネクシィーズ・ゼロ事業では、設置工事費用を含めた初期投資オールゼロで、顧客に最新の省エネルギー設備等を導入できる「ネクシィーズ・ゼロシリーズ(以下、「ネクシィーズ・ゼロ」)」の提供、利用者獲得業務及び省エネルギー設備等の販売を行っております。

当第2四半期連結累計期間においては、引き続き光触媒空間除菌脱臭機をはじめとしたwithコロナ関連商材が好調に推移しております。また、拠点の数を増やして幅広く営業を展開することで、LED照明や業務用冷蔵庫、空調等のコロナ関連以外の商材も堅調に推移しております。また、新たにキャッシュレス決済に対応した券売機やセルフレジの販売を開始いたしました。一方で、契約者数の増加に合わせて引当金繰入額を計上しております。

これらの結果、ネクシィーズ・ゼロ事業は、売上高6,557百万円(前年同四半期比14.0%増)、セグメント利益148百万円(前年同四半期比57.2%減)となりました。

## [電力小売事業]

電力小売事業では、電力小売「ネクシィーズ電力」の提供を行っております。

当第2四半期連結累計期間においては、「ネクシィーズ・ゼロ」のLED照明や空調等の商材の提案と同時に「ネクシィーズ電力」も提案することで、効率的な営業活動を行っております。契約件数は引き続き増加し、継続的な収益を得られております。一方で、令和2年12月～令和3年1月に急激な仕入価格の高騰があった影響で、売上原価が大幅に増加いたしました。なお、令和3年2月以降は平常時の価格に戻っております。

これらの結果、電力小売事業は、売上高853百万円(前年同四半期比9.7%増)、セグメント損失447百万円(前年同四半期はセグメント利益77百万円)となりました。

## [電子メディア事業]

電子メディア事業では、企業プロモーション支援を目的として、インターネットを主とした各種サービスを提供しております。

当第2四半期連結累計期間においては、電子雑誌業務の主力電子雑誌である「旅色」において、お取り寄せ特集の広告掲載数拡大や自治体との別冊版「旅色」の発行及び広告掲載の実施により、売上が堅調に推移いたしました。ソリューション業務では、ECサイト利用の需要増加を背景に「ECサポートサービス」や「プランジスタ物流」の売上が堅調に推移いたしました。

これらの結果、電子メディア事業は、売上高1,555百万円(前年同四半期比6.2%増)、セグメント利益249百万円(前年同四半期比64.7%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

a. 資産・負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は15,760百万円となり、前連結会計年度末に比べて303百万円の減少となりました。

① 資産の状況

(流動資産)

流動資産は11,752百万円となり、前連結会計年度末に比べて244百万円の減少となりました。これは主に、現金及び預金が467百万円、商品が171百万円増加した一方で、未収法人税等が527百万円、受取手形及び売掛金が301百万円、リース債権が26百万円減少したことによるものであります。

(固定資産)

固定資産は4,008百万円となり、前連結会計年度末に比べて58百万円の減少となりました。これは主に、敷金及び保証金が70百万円が増加した一方で、繰延税金資産が80百万円、投資有価証券が31百万円減少したことによるものであります。

② 負債の状況

(流動負債)

流動負債は7,163百万円となり、前連結会計年度末に比べて1,576百万円の増加となりました。これは主に、1年以内返済予定の長期借入金が108百万円減少した一方で、短期借入金が750百万円、買掛金が432百万円、解約調整引当金が322百万円、未払金が62百万円増加したことによるものであります。

(固定負債)

固定負債は4,116百万円となり、前連結会計年度末に比べて834百万円の減少となりました。これは主に、長期借入金(1年内返済予定を除く)が860百万円減少したことによるものであります。

③ 純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は4,480百万円となり、前連結会計年度末に比べて1,044百万円の減少となりました。これは主に、非支配株主持分が75百万円増加した一方で、剰余金の配当や親会社株主に帰属する四半期純損失を計上したこと等により利益剰余金が1,126百万円減少したことによるものであります。

b. キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」)の四半期末残高は4,309百万円となり、前連結会計年度末に比べて467百万円の増加となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は1,101百万円(前年同四半期は160百万円の収入)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純損失607百万円、たな卸資産の増加額171百万円、業績連動賞与引当金の減少額83百万円があった一方で、法人税等の支払額又は還付額475百万円、売上債権の減少額301百万円、解約調整引当金の増加額322百万円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は129百万円(前年同四半期は238百万円の支出)となりました。これは主に、敷金及び保証金の回収による収入30百万円があった一方で、投資有価証券の取得による支出54百万円、敷金及び保証金の差入による支出105百万円、無形固定資産の取得による支出25百万円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は505百万円(前年同四半期は1,066百万円の収入)となりました。これは主に、短期借入金の増加額750百万円があった一方で、長期借入金の返済による支出968百万円、配当金の支払額259百万円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、令和2年11月13日公表の「令和2年9月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はございません。

なお、連結業績予想の将来予測につきましては、以下のとおりです。

[ネクシィーズ・ゼロ事業]

ネクシィーズ・ゼロ事業では、LED照明や業務用の空調・冷蔵庫に加え、Withコロナ関連商品として光触媒空間除菌脱臭機やマルチ決済端末、ロールスクリーン等、顧客のニーズに応じた様々な商品を提供することで、収益機会の増大に努めてまいります。

また、光触媒空間除菌脱臭機の個人向け販売の開始や、少人数の営業拠点を13拠点増やしており、販売網を強化することでさらなる成長を図ってまいります。

そのほか、「ネクシィーズ・ゼロ」のスキームを活用した「BODY ARCHI (ボディアーキ)」も出店を継続していく予定であります。

[電力小売事業]

電力小売事業では、「ネクシィーズ電力」の個人向け販売の開始のほか、「ネクシィーズ電力」について引き続き追加提案してくことで中長期的なストック収益の積み上げに注力してまいります。

[電子メディア事業]

電子雑誌業務については、主力雑誌である「旅色」のお取り寄せ特集を中心とした電子雑誌への広告掲載数が回復基調であり、今後も広告収益の拡大のための媒体力強化に注力してまいります。

ソリューション業務については、コロナ禍においてのEC利用者の増加を踏まえ、主力サービスである「ECサポートサービス」に注力してまいります。また、これまで培ってきたノウハウを基に販売を開始したスキンケア商品のオリジナル新ブランド「Feel the HALO」の販売を強化するため、販売促進及び広告宣伝費用の増加を見込んでおります。

上記のほか、ネクシィーズ・ゼロ事業、電力小売事業、電子メディア事業の各事業において新型コロナウイルス感染症の影響が一定程度引き続くものと見込んでおります。

令和3年9月期 通期連結業績見通し (令和2年10月1日～令和3年9月30日)

売上高 1,650百万円

営業利益 500百万円

経常利益 500百万円

親会社株主に帰属する当期純利益 250百万円

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (令和2年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (令和3年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,841	4,309
受取手形及び売掛金	3,567	3,265
リース債権	3,152	3,125
商品	468	639
未収入金	135	167
その他	1,244	673
貸倒引当金	△414	△429
流動資産合計	11,996	11,752
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,061	1,049
工具、器具及び備品(純額)	131	122
その他(純額)	20	15
有形固定資産合計	1,213	1,187
無形固定資産		
のれん	9	5
ソフトウェア	70	79
無形固定資産合計	79	85
投資その他の資産		
投資有価証券	869	838
敷金及び保証金	514	585
繰延税金資産	873	793
その他	1,340	1,440
貸倒引当金	△824	△922
投資その他の資産合計	2,774	2,735
固定資産合計	4,067	4,008
資産合計	16,064	15,760



(単位:百万円)

	前連結会計年度 (令和2年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (令和3年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,042	1,475
短期借入金	450	1,200
1年内返済予定の長期借入金	1,936	1,828
未払金	370	433
未払法人税等	66	116
解約調整引当金	1,028	1,350
業績連動賞与引当金	301	218
その他	390	540
流動負債合計	5,587	7,163
固定負債		
長期借入金	4,707	3,846
その他	244	269
固定負債合計	4,951	4,116
負債合計	10,539	11,280
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,189	1,189
資本剰余金	—	—
利益剰余金	2,977	1,851
自己株式	△904	△899
株主資本合計	3,262	2,141
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	190	191
為替換算調整勘定	△0	0
その他の包括利益累計額合計	190	191
新株予約権	6	6
非支配株主持分	2,065	2,140
純資産合計	5,524	4,480
負債純資産合計	16,064	15,760

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 令和元年10月1日 至 令和2年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 令和2年10月1日 至 令和3年3月31日)
売上高	7,928	8,903
売上原価	3,766	4,957
売上総利益	4,162	3,946
販売費及び一般管理費	4,070	4,522
営業利益又は営業損失(△)	92	△575
営業外収益		
受取利息	6	0
投資有価証券売却益	3	—
還付加算金	4	1
受取給付金	—	6
雇用調整助成金	—	3
その他	3	13
営業外収益合計	17	25
営業外費用		
支払利息	8	17
貸倒引当金繰入額	7	—
支払手数料	3	2
その他	0	2
営業外費用合計	19	22
経常利益又は経常損失(△)	90	△573
特別損失		
投資有価証券評価損	—	18
関係会社株式評価損	15	15
特別損失合計	15	33
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	74	△607
法人税、住民税及び事業税	129	101
法人税等調整額	37	80
法人税等合計	166	182
四半期純損失(△)	△92	△789
非支配株主に帰属する四半期純利益	85	81
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△177	△870

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 令和元年10月1日 至 令和2年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 令和2年10月1日 至 令和3年3月31日)
四半期純損失(△)	△92	△789
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	0
為替換算調整勘定	0	1
その他の包括利益合計	0	1
四半期包括利益	△91	△787
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△176	△869
非支配株主に係る四半期包括利益	84	82

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 令和元年10月1日 至 令和2年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 令和2年10月1日 至 令和3年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	74	△607
減価償却費及びその他の償却費	49	63
のれん償却額	28	3
解約調整引当金の増減額(△は減少)	213	322
業績連動賞与引当金の増減額(△は減少)	△173	△83
貸倒引当金の増減額(△は減少)	159	113
受取利息及び受取配当金	△6	△1
支払利息	8	17
投資有価証券売却損益(△は益)	△3	—
投資有価証券評価損益(△は益)	—	18
関係会社株式評価損益(△は益)	15	15
売上債権の増減額(△は増加)	△963	301
リース債権の増減額(△は増加)	1,015	26
たな卸資産の増減額(△は増加)	△136	△171
立替金の増減額(△は増加)	84	△21
仕入債務の増減額(△は減少)	△347	432
未払金の増減額(△は減少)	344	51
未払消費税等の増減額(△は減少)	72	108
預り金の増減額(△は減少)	43	53
その他	△9	△2
小計	469	642
利息及び配当金の受取額	8	1
利息の支払額	△8	△17
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△308	475
営業活動によるキャッシュ・フロー	160	1,101
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の取得による支出	△215	△54
投資有価証券の売却による収入	102	0
有形固定資産の取得による支出	△18	△17
無形固定資産の取得による支出	△32	△25
敷金及び保証金の差入による支出	△66	△105
敷金及び保証金の回収による収入	0	30
その他	△8	43
投資活動によるキャッシュ・フロー	△238	△129

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 令和元年10月1日 至 令和2年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 令和2年10月1日 至 令和3年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	520	750
長期借入れによる収入	1,300	—
長期借入金の返済による支出	△381	△968
非支配株主からの払込みによる収入	61	—
配当金の支払額	△257	△259
自己株式の取得による支出	△0	△0
自己株式の処分による収入	40	2
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△185	—
その他	△29	△30
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,066	△505
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	1
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	989	467
現金及び現金同等物の期首残高	4,738	3,841
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,728	4,309

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用)

当社及び一部の連結子会社は、「所得税法等の一部を改正する法律」(令和2年法律第8号)において創設されたグループ通算制度への移行及びグループ通算制度への移行に合わせて単体納税制度の見直しが行われた項目については、「連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱い」(実務対応報告第39号 令和2年3月31日)第3項の取扱いにより、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 平成30年2月16日)第44項の定めを適用せず、繰延税金資産及び繰延税金負債の額について、改正前の税法の規定に基づいております。

(新型コロナウイルス感染拡大に伴う会計上の見積りについて)

新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する会計上の見積りの仮定につきましては、前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した内容から重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 令和元年10月1日 至 令和2年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ネクシィーズ・ゼロ 事業	電力小売 事業	電子 メディア 事業	計			
売上高							
外部顧客への売上高	5,686	777	1,464	7,928	7,928	—	7,928
セグメント間の内部売上高又は振替高	67	—	—	67	67	△67	—
計	5,753	777	1,464	7,995	7,995	△67	7,928
セグメント利益	346	77	151	575	575	△483	92

(注) 1. セグメント利益の調整額△483百万円には、各報告セグメントに配分していない全社収益及び全社費用が含まれております。

なお、全社収益は主に連結子会社からの管理業務受託料であり、全社費用は主に報告セグメントに帰属しない持株会社運営に係る費用及び各報告セグメントに配分していない人件費等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

記載すべき重要な事項はありません。

## Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 令和2年10月1日 至 令和3年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ネクシィーズ・ゼロ 事業	電力小売 事業	電子 メディア 事業	計			
売上高							
外部顧客への売上高	6,494	853	1,555	8,903	8,903	—	8,903
セグメント間の内部売上高又は振替高	62	—	—	62	62	△62	—
計	6,557	853	1,555	8,966	8,966	△62	8,903
セグメント利益又は損失(△)	148	△447	249	△48	△48	△527	△575

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△527百万円には、各報告セグメントに配分していない全社収益及び全社費用が含まれております。

なお、全社収益は主に連結子会社からの管理業務受託料であり、全社費用は主に報告セグメントに帰属しない持株会社運営に係る費用及び各報告セグメントに配分していない人件費等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、「ネクシィーズ・ゼロ事業」に含まれる「電力小売事業」について量的な重要性が増してきたことから、各事業の収益を明確化するため、事業ポートフォリオの変化等を踏まえた経営管理手法の見直しを実施しております。これに伴い、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントを従来の「ネクシィーズ・ゼロ事業」及び「電子メディア事業」の2区分から、「ネクシィーズ・ゼロ事業」、「電力小売事業」及び「電子メディア事業」の3区分に変更しております。

このため、前第2四半期連結累計期間のセグメント損益につきましても、変更後の区分方法により作成しております。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

記載すべき重要な事項はありません。